

* 研究目的

本研究では、産業組織理論やサーチ理論により銀行企業間の関係性がマクロ経済に対してどのような影響を与えるかを理論的に概念化すると共に、1980年以降の銀行と借入企業（上場企業）のマッチングデータを利用した上で、日本における銀行と借入企業の関係性が、日本のマクロ経済にどのような影響を与えてきたのかを実証分析する。とりわけ、本研究では、①銀行と借入企業との関係がどのような要因で切断され、そのマクロ的な影響はどのようなものであったのか、②各企業からみた銀行の寡占度が歴史的にどう変化し、そうした寡占度の変化がマクロ経済にどのような影響を与えてきたのか、③銀行と借入企業の関係性の深化がゾンビ企業をもたらしたのか、もしくは、ゾンビ企業の存在が関係性を深化させたのか、という3つの観点から経済分析を行う。

* 研究チームメンバーと研究課題

| | | |
|------|---|--------------------------|
| 中島清貴 | 経済学部 准教授 | 日本経済のマクロ金融分析 |
| 三上和彦 | 経営学部 教授 | サーチ理論とゲーム理論の金融分析への 応用 |
| 高橋耕史 | 日本銀行職員 (カリフォルニア大学サンディエゴ校 博士課程在学中) | 日本経済のマクロ金融分析 |